

1 部門目標

地域に求められる、小児外科医療を提供する。

小児外科が扱う疾患の特性として、一人で診ることができる疾患は限られており、緊急性が高い疾患や、重症度の高い疾患、複雑な疾患などに関しては、千葉大学医学部附属病院や東京女子医大八千代医療センター、千葉県こども病院などの、近隣の高次医療機関へ紹介している。その際、小児外科専門医として適切なアセスメントを心がけ、患者さんにとって不利益がないようにシームレスな医療を提供できるよう心がけている。

2 業務体制・スタッフ

小児外科は、平成 29 年 4 月に千葉大学から派遣され常勤・小原一人体制で開設された。3 年目となる令和元年度は、小児科より専攻医の原木悠先生（4 月～6 月）、山口亮先生（7 月～9 月）、近藤丈太先生（9 月）、初期臨床研修医の原木晶子先生（7 月）が研修に来てくださった。

東京女子医大八千代医療センターの武之内史子先生が月曜日の外来を担当した。

手術は、予定手術は千葉大学小児外科から非常勤を派遣していただき、緊急手術は、外科に助手をしていただいて実施した。

令和 2 年 3 月からは小原が産休に入り、一時的に常勤不在となった。

3 業務実績

開設以来、手術件数は増加傾向である。

	予定手術 (件)	緊急手術 (件)	内視鏡検査 (件)
平成 29 年度	30	9	6
平成 30 年度	48	15	5
令和元年度	57	11	9

4 1 年間の総括

科長が妊娠中であったこともあり、コ・メディカルや専攻医、研修医の先生方に助けていただくことも多い一年であった。3 年目に入り、近隣病院への周知も進み紹介数も増加した。

5 今後の目標

患児ひとりひとりに最善な治療を常に考えながら、多施設との連携をとり適切な医療を提供していくよう努める。できる限り丁寧な診療を心がける。